

学校配置の適正化について

(生野区役所)



令和5年1月27日 (金)

勝山小学校区 保護者説明会

学校配置の適正化が求められる背景

1. 児童の学習環境の観点

小規模校(11学級以下の小学校)の利点と課題

利点	<ul style="list-style-type: none">●学校としてまとまりやすい。<ul style="list-style-type: none">▶ 一人一人に目が行き届きやすい。●一人一人の学習状況を把握し、個別指導を含めたきめ細やかな指導が行いやすい。
課題	<ul style="list-style-type: none">●教育活動の幅が狭くなる。<ul style="list-style-type: none">▶ 音楽の合唱や、体育の集団競技などは困難な場合もある。●互いに切磋琢磨する機会が少なくなる。<ul style="list-style-type: none">▶ 運動会でのリレー、ドッジボール等の球技大会などにおいて、クラス対抗ができない。授業の中で多様な発言が引き出しにくくなる。●クラス替えができないことから、人間関係が固定化する傾向にある。●教職員数も少なくなり、学年運営に関して同学年担当教員による学年共通の指導方法の高め合いができない。

新たな学習指導要領の全面実施(R2)から

◆子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

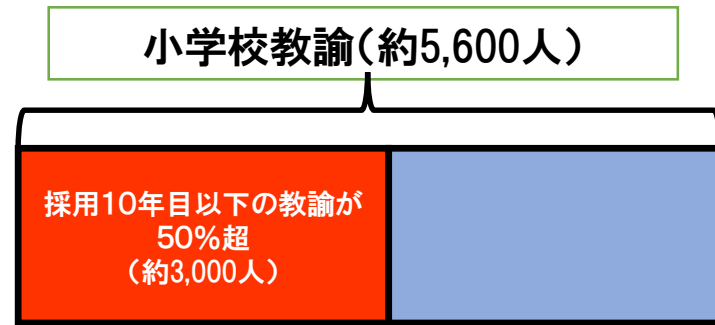
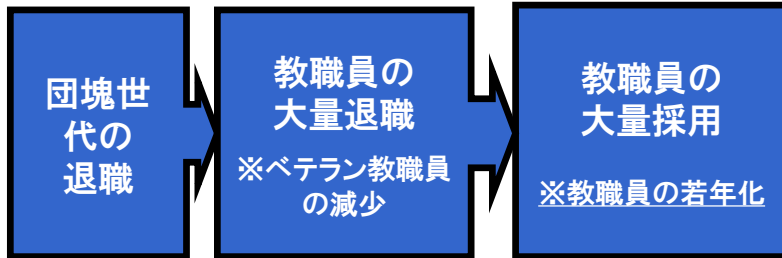
◆何ができるようになるかを明確にした社会に開かれた教育課程の編制

子どもたちが多様な人間関係を構築する環境を意図的に創出

教科横断的なカリキュラムの検討や一部教科担任制の導入が可能な教職員組織の構築

学校配置の適正化が求められる背景

2 教職員組織面から

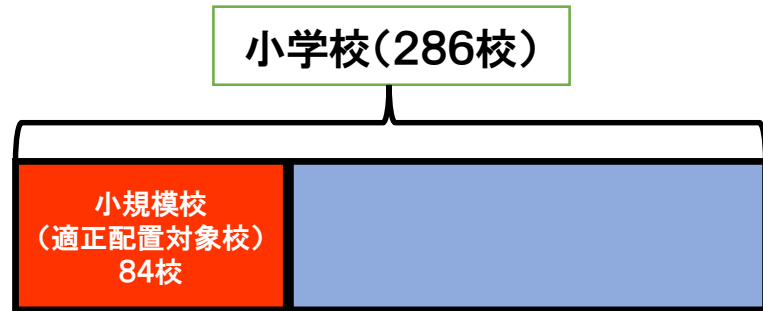


児童数の減少による小学校の小規模化

大阪市立小学校の児童数



大阪市立小学校の学校数



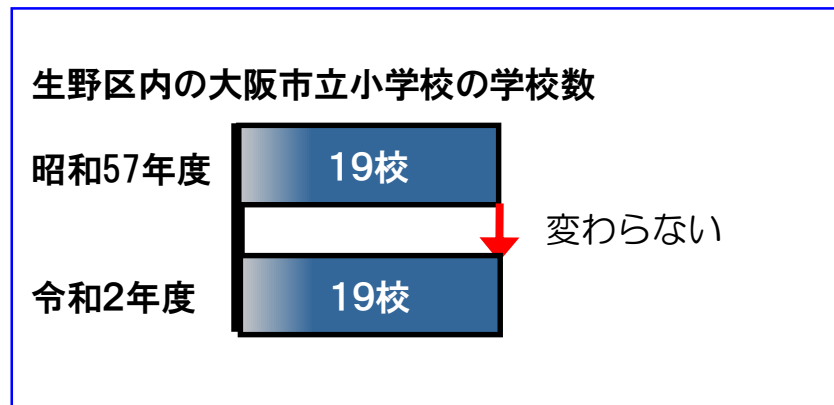
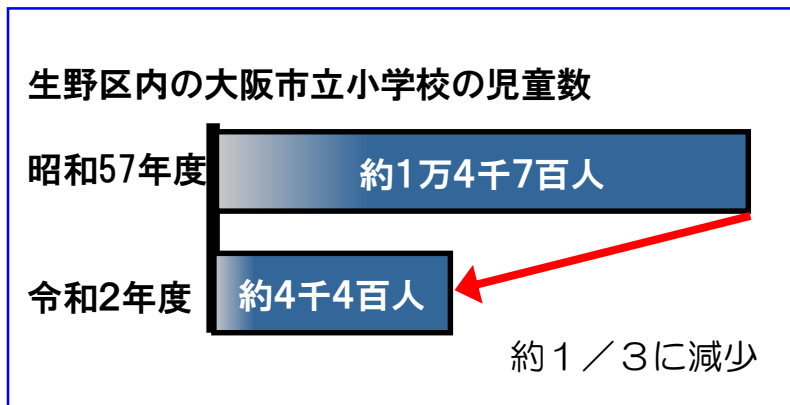
小学校の約3割が小規模校化
1割以上の学校が全学年単学級

全国的な教員不足の状況のもと、初任者を単学級に配置せざる負えない状況に・・・

各学年2学級以上の規模として、経験年数のバランスを考慮した教職員配置
初任者は経験ある教員と学年運営を担うことで、資質の向上を図る

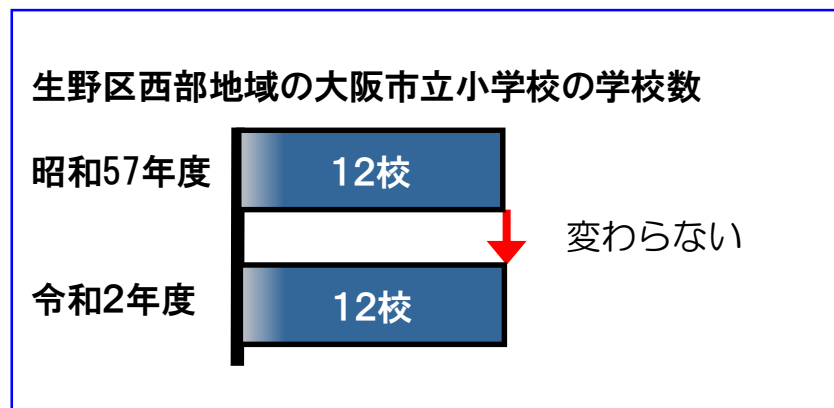
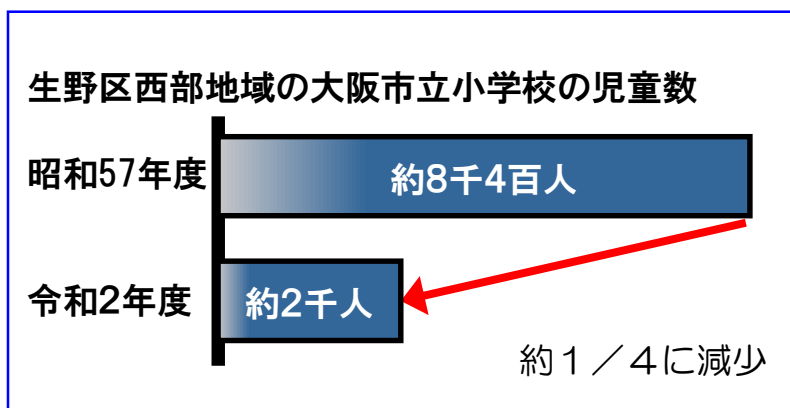
生野区の現状（児童数の減少による小学校の小規模化）

1 生野区全体の状況



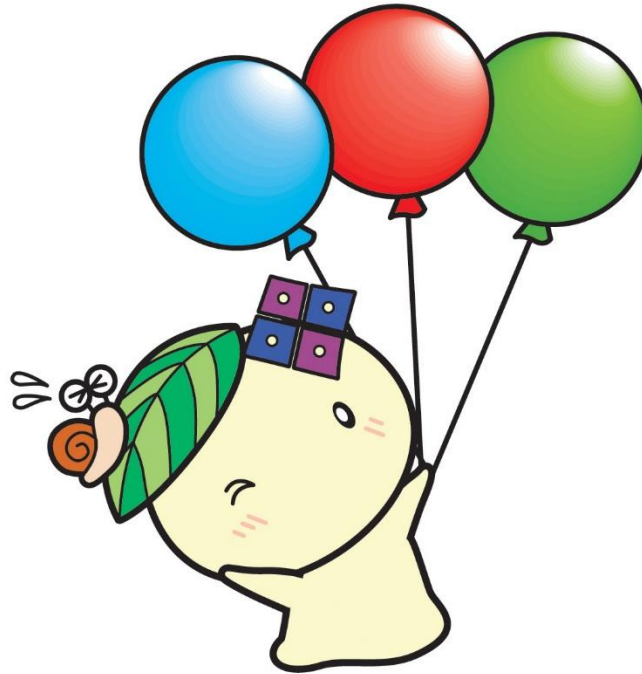
小学校の小規模化が大阪市の平均よりさらに進行しています。

2 生野区西部地域の状況

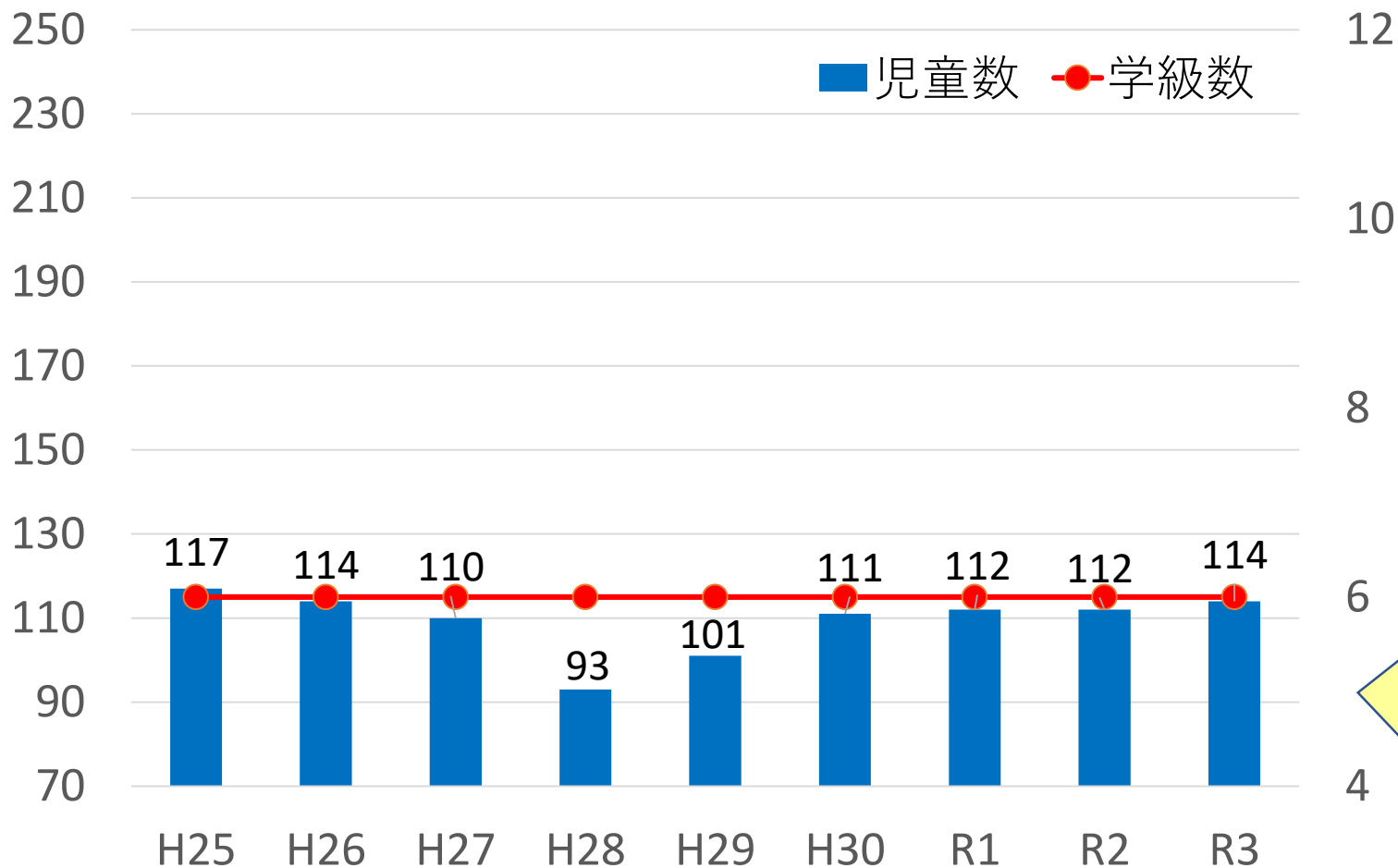


大阪市、生野区全体よりも児童数が減少しており、小学校の小規模化がさらに進行しています。

桃谷中学校区の状況



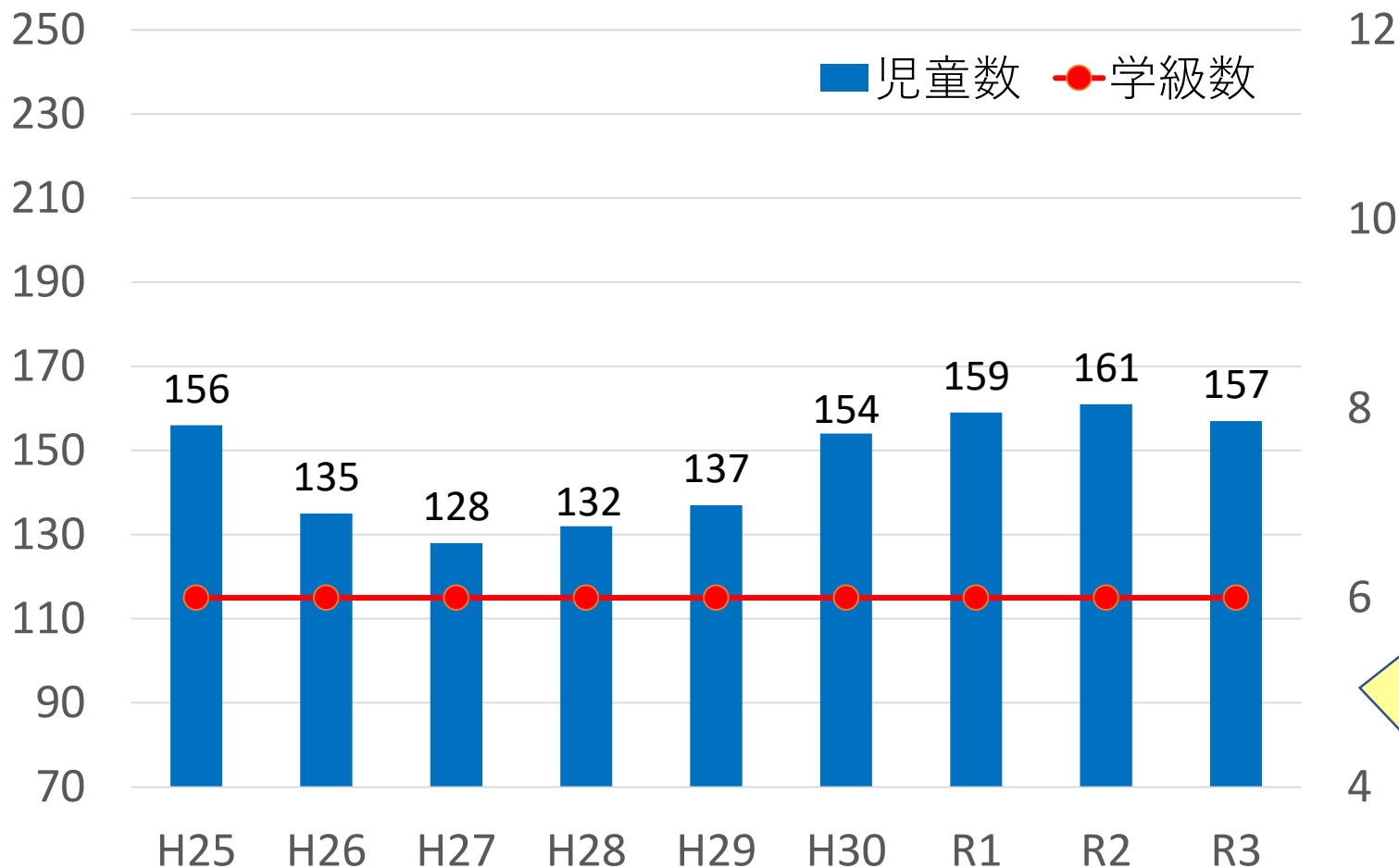
児童数の推移 ～北鶴橋小学校～



今後も
110人前後
6学級の
状況が続く
見込み

※各年5月1日現在の児童数・学級数

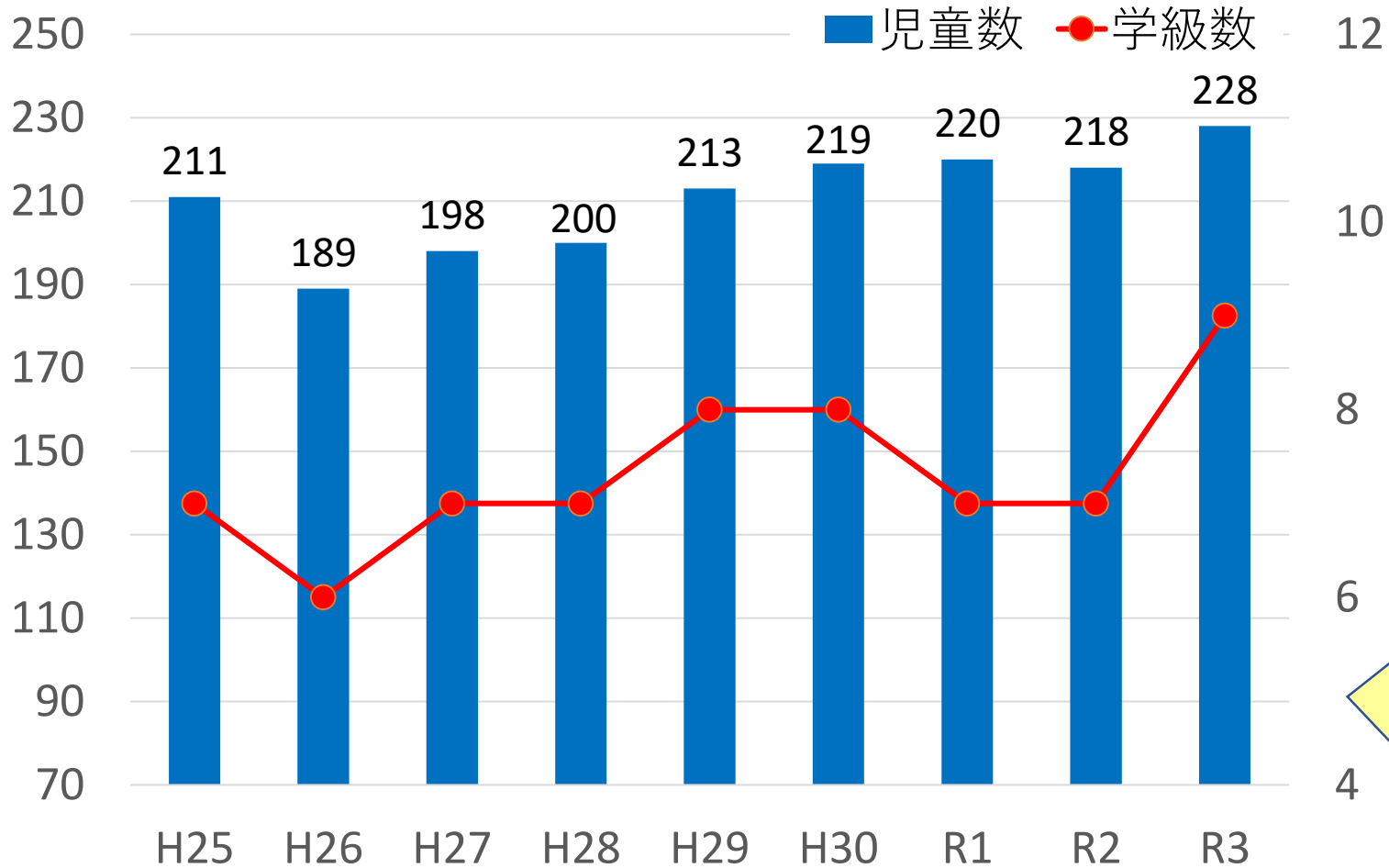
児童数の推移 ～鶴橋小学校～



今後も
150人前後
6学級の
状況が続く
見込み

※各年5月1日現在の児童数・学級数

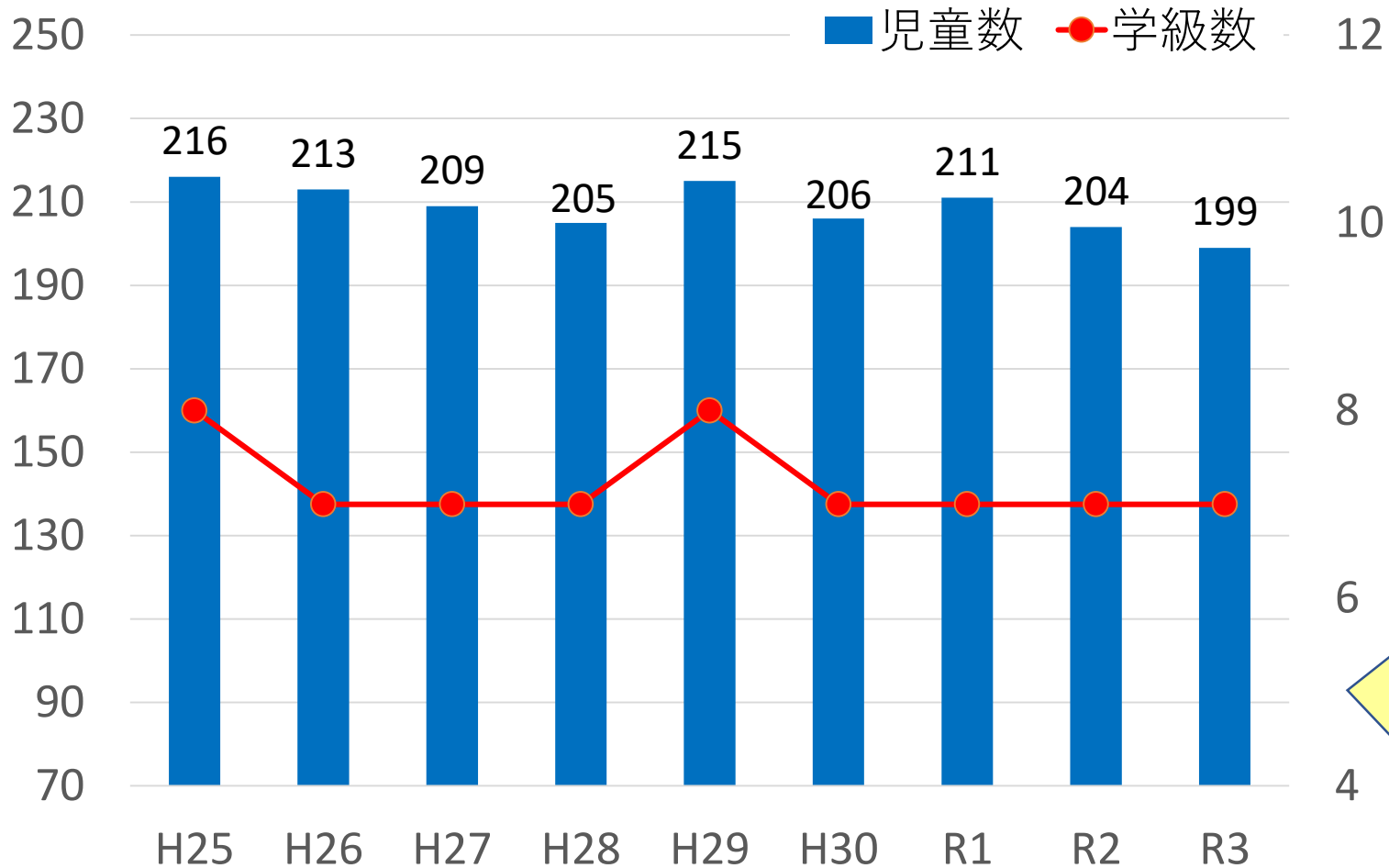
児童数の推移 ～東桃谷小学校～



※各年5月1日現在の児童数・学級数

今後も
220人前後
8学級前後の
状況が続く
見込み

児童数の推移 ～勝山小学校～



今後も
200人前後
7学級前後の
状況が続く
見込み

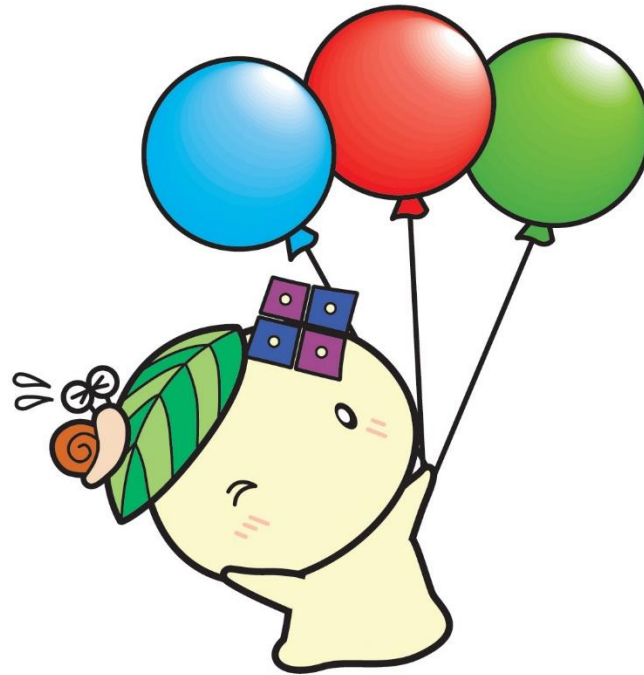
※各年5月1日現在の児童数・学級数

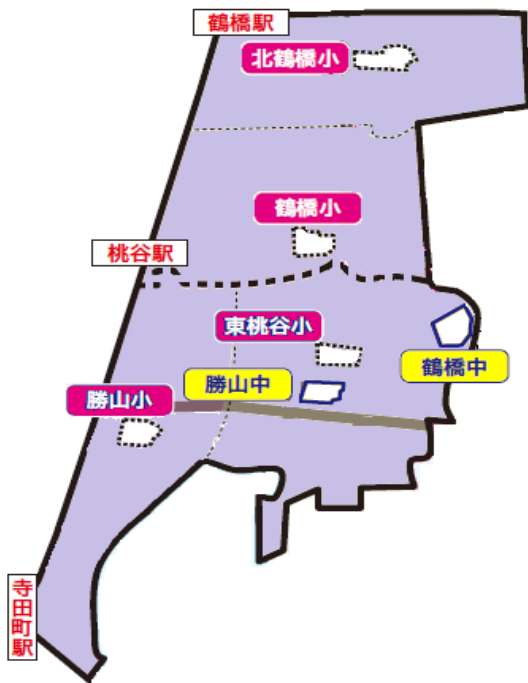
各小学校の児童数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
北鶴橋小	11人	20人	23人	20人	25人	15人
	6 5	13 7	13 10	10 10	13 12	6 9
鶴橋小	28人	30人	24人	29人	23人	23人
	17 11	15 15	10 14	16 13	13 10	11 12
東桃谷小	36人	32人	38人	37人	44人	41人
	22 14	19 13	25 13	18 19	24 20	20 21
勝山小	22人	31人	29人	31人	47人	39人
	10 12	17 14	13 16	16 15	26 21	23 16

※令和3年5月1日現在の児童数
下段は、左が男子、右が女子

学校再編について





4小学校（2中学校）を同時に再編
 ※中学校はH31.4に再編

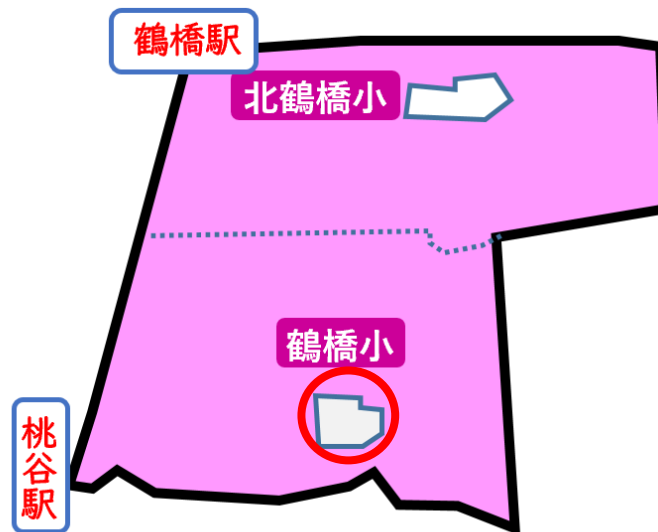
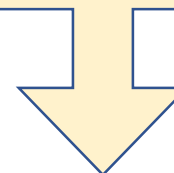
桃谷中学校

勝山中学校 鶴橋中学校

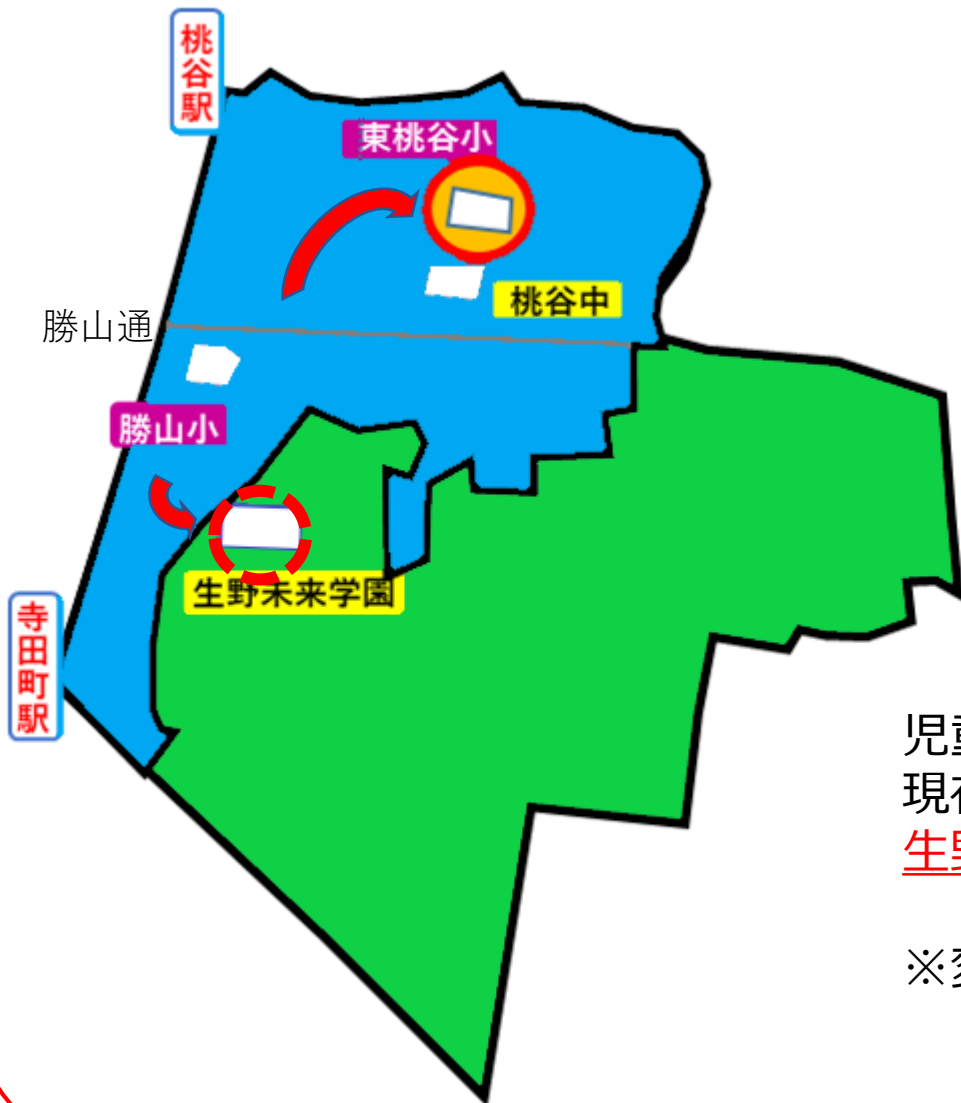
(仮称) A小学校

北鶴橋小学校 鶴橋小学校
 東桃谷小学校 勝山小学校

北鶴橋小学校と鶴橋小学校を再編
 新たな学校の場所：鶴橋小学校
 時期：令和8年4月
 R4.2「学校再編整備計画」策定



勝山小学校と東桃谷小学校を再編 (生野未来学園への校区設定も同時に検討)



大阪市教育局の指針に基づき

東桃谷小学校の校地・校舎を活用

児童の登下校の負担・安全面を考慮して
現在の勝山小学校区のうち
生野未来学園に校区を変更する地域を検討

※変更する地域は中学校区も変更

勝山小学校区の児童数（区役所調べ）

令和4年5月現在

住所	未就学児							在校生							合計
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
勝山北1丁目	7	12	14	16	18	16	83	8	10	17	14	10	20	79	162
勝山南1丁目	7	16	12	7	15	10	67	7	3	8	5	8	11	42	109
生野西1丁目	9	8	5	7	8	7	44	6	8	6	9	8	14	51	95
生野西2丁目	4	5	2	2	4	4	21	1	1	1	1	3	1	8	29
生野西4丁目	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	27	41	33	32	45	37	215	22	22	32	29	29	46	180	395

注)在校生数には校区外の児童を含まない

再編に向けたステップ

「大阪市立学校活性化条例」の手続きに沿って進める必要

区担当教育次長（区長）

「学校再編整備計画（案）」を作成

- 再編後の学校の場所
- 再編の実施時期
- 再編に必要な施設整備計画
- 再編後の通学路・安全対策 など

教育委員会

「学校再編整備計画（案）」を承認



学校再編整備計画

学校適正配置検討会議

メンバー：保護者、地域住民

学校再編整備計画

会議内容：学校再編整備計画、
学校名、校章、校歌、
標準服、通学路の安全対策
などについて



開校



再編スケジュール（イメージ）

R4年度

R5年度

R6年度

R7年度

R8年度

学校再編
整備計画
(案)



教育委員会

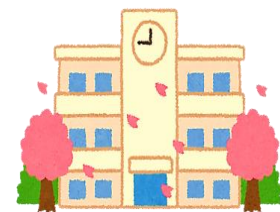


学校再編
整備計画

学校適正配置検討会議

- ・ 学校名
- ・ 校章
- ・ 校歌
- ・ 標準服
- ・ 通学路の安全対策 など

開校

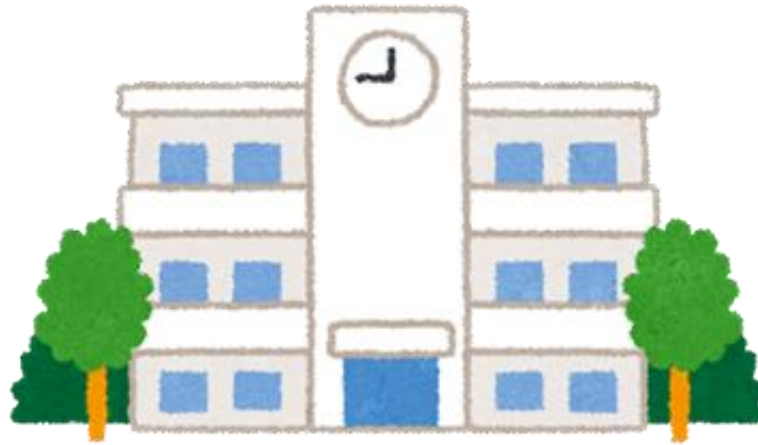


学校施設
事前調査等

実施設計

教室改修等
工事

学校の跡地活用について



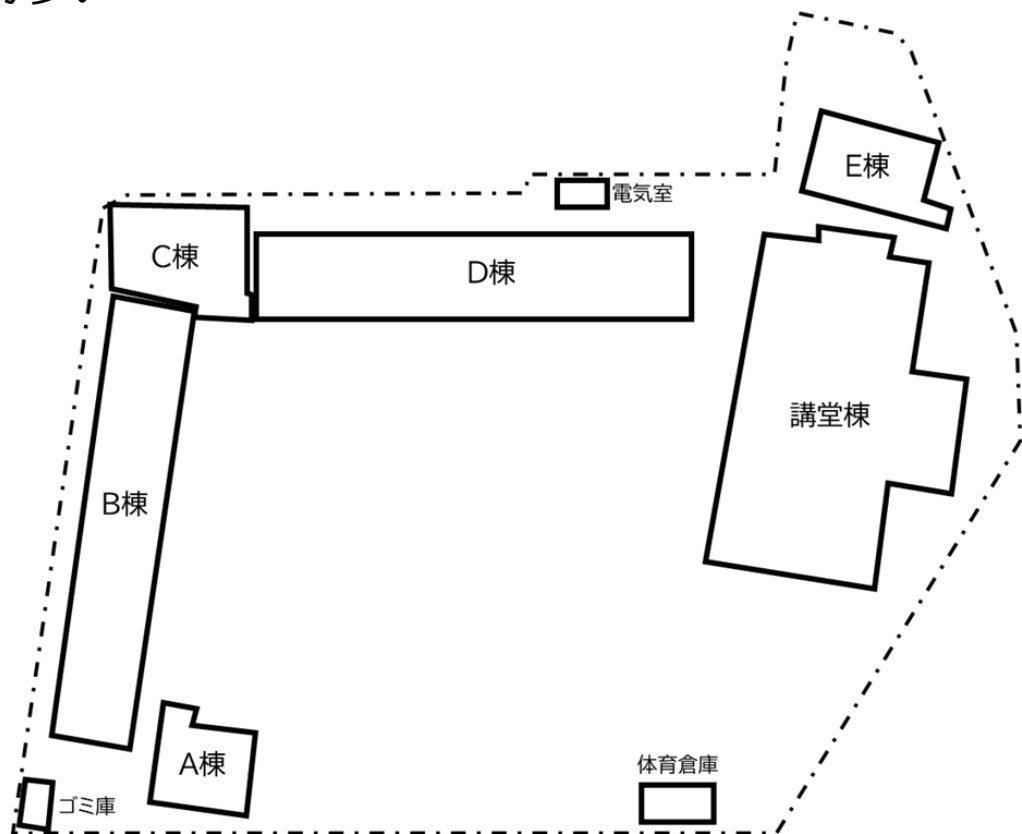
校舎等の状況

➤ 勝山小学校校舎は全般的に建築年が古く、講堂棟以外の活用が困難

※これまでの学校跡地活用におけるマーケットサウンディングでは事業者の投資コスト回収の観点から20年間以上の長期賃貸借契約を望む意見が多い

棟	構造	建築年	R8時点 経過年※
A棟	S造	S42年	59年
B棟	RC造	S33年	68年
C棟	RC造S造	S52年	49年
D棟	RC造	S35年	66年
E棟	RC造	S38年	63年
講堂棟	RC造	S60年	41年

※仮にR8.4月再編とした場合



【参考:建築物の一般的な耐用年数】
RC造:60年程度 S造:50年程度

活用可能性の調査

マーケティングリサーチ（活用手法調査）

- ・土地、建物、立地等を考慮し、どのような活用手法が考えられるか、また跡地活用の可能性のある関係事業者ヒアリングやアンケートを行い、どのような条件であれば実現可能か等の活用の可能性を探る調査をおこなう。



マーケットサウンディング（市場調査）

- ・マーケティングリサーチにより、勝山小学校の跡地活用方針を決定し、その条件を示したうえで広く市場調査を行う。



活用事業者公募へ

跡地活用に向けた進め方のイメージ

R4年度

R5年度

R6年度

R7年度

R8年度

学校跡地検討会議

各項目について勝山地域と意見交換・検討

- ・避難所として使用する条件
- ・活用事業者を求める条件（用途・選挙・地域活動）等



意見反映

跡地活用計画案の策定

公募条件整理
庁内手続き

マーケティングリサーチ
(活用手法調査)

サウンディング
(市場調査)

事業者公募

契約
引渡し

開校

災害時避難所について

①地区防災計画の見直し

- 勝山小学校の校舎は古く継続的な維持・活用が困難なため、地区防災計画を見直す検討が必要になります。
- 地区防災計画の見直しの検討については地域・区役所で、跡地活用のマーケティングリサーチ（活用手法調査）の調査状況を見ながら、マーケットサウンディング（市場調査）を開始するまでに、見直し案を作る必要があります。

②跡地活用事業者の工事中の対応

- 生野未来学園（もと西生野小学校）、大阪偕星学園高等学校、プール学院のほか、勝山地域内や付近の施設へ避難所指定の協力依頼を行い、新たな避難所とするなどし、工事中の避難場所の確保に努めます。

お問い合わせ先

- 生野区役所

地域まちづくり課（教育振興）

電話：06-6715-9920

メール：ikuno-edu@city.osaka.lg.jp

